

自分らしく生き生きと輝きたい！ 女性の力を地域の元気に

釧路市 NOKA, WP 釧路モカ女性プロジェクト

「もっと大きくかっこよくありたいウーマンズプロジェクト」——。それぞれの言葉の頭文字を取ってつけられたのが「釧路モカ女性プロジェクト」。女性が元気で生き生きと生活することを目指し活動している。「そのゴロ合わせに全てが集約されているような集まりですね。こうありたい！という希望が先にありますね」と語るのは、代表の森崎三記子さん。実はこれは後付けで、初めてメンバーで会った釧路の老舗の喫茶店の名物であるモカソフトから名前をとり、メンバーの集まりも「モカ」と呼んでいたのもそのまま使うことに。

■ 女性の悩み相談がきっかけ

活動が始まったのは、2011年の5月のこと。

普段はハローワーク釧路で嘱託職員として、仕事と子育ての両立をサポートするマザーズコーナーで個別相談業務をしている森崎さん。色々な年齢や立場の母親などからの相談がある中で子育て中や、家庭と両立しながら仕事をしたいという人、シングルマザーも多い中で、一番強烈に感じたのは、小さい子供がいるとい

う理由だけで、応募してもなかなか採用にいたらないということ。「思いはあるけれど、働けない、何かしたいという人はすごく多い。一人ではできないけれど、仲間がいればできるとか、何かみんなで話しているうちにアイデアにつながるのでは？という単純な発想から5人で始めました」と森崎さん。

現在メンバーは、20代から50代までの15人。育児中、介護中、シングルマザーなど一人一人立場は異なるが、その人の持っている得意分野やその人らしさを発揮できる、これなら私は輝けるといふものがある女性を目指して、月に一度は定期的に集まり活動している。



月に一度のミーティングから様々なアイデアも

■ 地域活性化に魚網タオル

会の一番の目的である女性が元気であるというために、協力したり、サポートしたり、中心的な役割を担いたいという。そして女性の元気を地域の活性化、釧路の元気につなげていきたいと考えている。

「全国的に地方の都市はそうかもしれませんが、釧路も住んでいると、どんどん衰退しているような感じがします。だったらここで女性の力を集結して、元気になれるようなことをしたい。人が元気にならないと町も元気にならないのでまず私たちが元気になること」(森崎さん)

その地域活性化につながるのではと期待をかけているのが、釧路市の市民団体協働補助金事業の補助金を受け「釧路女性活性化プロジェクト」事業の一環として行っている魚網タオルの企画・開発。ネーミングは観光用に意識して「よっ！魚網美人！」「幸(しあわせ)たわし」とユニークだ。

釧路といえば漁業。その漁業に欠かせない網を地域資源の活用につなげ、それを女性視点で商品化につなげたいと目をつけた。

「魚をとる網は、サイズを決めて作るので、網が余ってしまいます。その余った網で何かできないかと考えていたところ、知人に網を使ったからだ洗いをもらいました。「これだ！」と思い、それを

ヒントに作ってみようと挑戦することにしました」と森崎さん。

釧路市内や厚岸町の網屋さんから、半端になった魚網をもらい、細いロープでつなげて作る。網が大きいので切る作業に時間がかかるが、その作業を終えてしまうと、10分~15分ほどでできる。昨年には魚網タオルの作り方教室を開き、市内のデイサービスセンターで高齢者たちと共に作った。また、厚岸の漁協の婦人部からも声がかかり、これから講習をする予定だ。



魚網タオルは釧路市内の様々な場所で販売されてる

現在は、釧路市漁業協同組合の直売店や、職場の人たちに300円というモニター価格で販売している。そこで得た色々な意見を参考に改良を加え、商品化していく。このタオルは評判が良く「素手で石鹸をつけるより泡がやわらかく、フワフワになります。水切りもいいですし、バスタブ洗いとか小さくしてなべ底やコップなどの食器洗いに使ってもいい。い

ろんな物に変化します。それになんとい
っても長持ちしますね」と事務局長の栗
山エリさんはアピールする。

「もしも販売ルートにうまくのせるこ
とができたら、子供のそばでお母さんた
ちが集まって作ることができるし、ハロ
ーワークで多くの問い合わせがある内職
仕事にもなります」

今後は、夢として500円から600円で、
駅や空港、阿寒や川湯などの温泉宿でも
販売し、釧路だけではなく、北海道の特
産になればという。



手軽に作れる魚網タオルはリハビリにもぴったり

■期待高まる「女性リーダー養成」講座

このほか力を入れている企画として
「女性リーダー養成」講座がある。「引ッ
込み思案でも人のお手伝いしたいとか、
そういう方たちに自己肯定感を高めても
らって何か一歩前に進むきっかけになっ
てほしいという思いから企画しました。
リーダーという言葉をあえて使ったのは、
少しだけ一歩前に出たいという気持ちが
強い方が対象だから」（森崎さん）

2012年の12月には第一弾が行われた。
セミナーでは、夫婦関係研究が専門で北
星学園大非常勤講師の土倉玲子さんが講
演した。内容は、起業しようとする女性
や、また何かしようとする女性が多く
ぶつかるであろう家族との時間、仕事の
時間などそれぞれの時間のバランスの取
り方や、家族との関係のあり方などにつ
いて。セミナー後は親睦会も行われた。

この講座が、これらを学ぶだけではなく、
志を同じにする女性同士が集うこと
で、新しいつながりや共感などが生まれ、
女性の新たな居場所になればと期待して
いる。

今は釧路市内の公共施設を借りて活動
しているが、これからはもっと気軽に集
まれるように拠点をみつけないといい、
候補場所もあるという。



2012年12月に行われた女性リーダー養成講座の様子

「就業支援の相談もできますし、保育の資格を持っているメンバーもいて育児の相談にも乗ることができます。それぞれの立場でアドバイスできるメンバーがいます。釧路に転居してきたばかりで右も左もわからないといったちょっとした悩みでも『困ったらモカに行け』みたいな居場所になればいいですね」と栗山さん。

彼女たちの出発点となった喫茶店のように、ホッと一息つける居心地のいい場所から羽ばたく女性たちが、釧路を活気あふれる街にすることを期待したい。



■ 連絡先

〒085-0045 釧路市住之江町1 2番8号
(事務局)

MOKA. WP

釧路モカ女性プロジェクト

代表名 森崎三記子

TEL 0154-24-0685(事務局)

Eメール

kushiro-moka-wp@mail.goo.ne.jp

URL <http://mokawp.blog.fc2.com/>